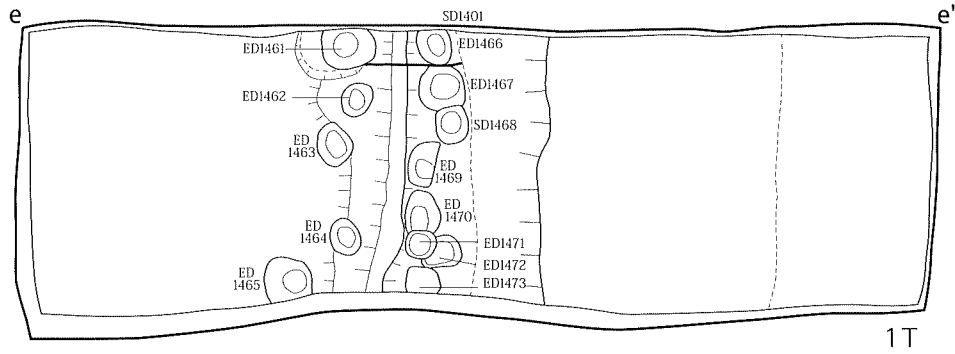
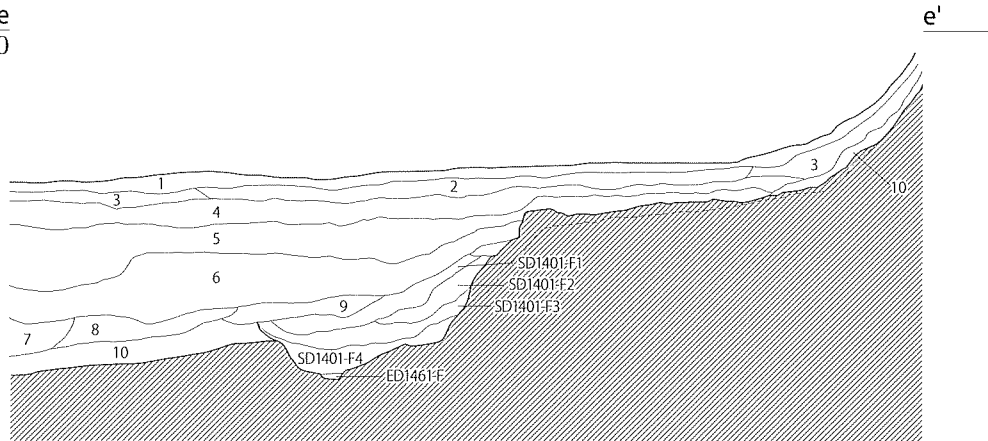


図 15 B3 堀切から蛇沢地区 7区 平面図・土層断面図



e
L=164.80



B3 堀切から蛇沢地区 1T 土層注記

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1:10YR2/2 黒褐色 (表土) | 7:10YR3/3 暗褐色 |
| 2:7.5YR4/4 砂礫層 (農道舗装面) | 8:10YR4/6 黄褐色 |
| 3:10YR4/3 黒褐色砂質土 (農道路盤) | 9:10YR5/6 褐色 |
| 4:10YR3/4 にぶい黄褐色砂質シルト | 10:10YR5/4 にぶい黄褐色粘質土 |
| 5:10YR4/4 褐色砂質土 | 11:2.5YR6/4 にぶい黄色 (地山) |
| 6:2.5Y4/2 オリーブ褐色砂質粘土 | |

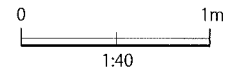


図 16 B3 堀切から蛇沢地区 1T 平面図・土層断面図



図 9-チ 八幡座地区谷部登り口 (蛇沢コース沿い、城道)



図 9-チ C 22 調査区 (蛇沢コース沿い)



C21 八幡座地区谷部登り口 土層注記

- 1: 10YR3/3 暗褐色シルト、砂礫混じる(表土)
- 2: 10YR4/3 にぶい黄褐色砂礫混じりシルト
- 3a、3b: 10YR4/4 褐色砂礫混じりシルト、暗褐色土、褐色土(地山)のプロック含む
- 4a、4b: 10YR4/3 にぶい黄褐色砂礫混じりシルト
- 5: 2.5Y4/2 暗灰黄褐色砂礫混じり粘質シルト、しまりがあ
- 6: 2.5Y5/2 暗灰黄褐色砂少量混じる粘質シルト、しまりがあ
- 7: 2.5Y4/3 オリーブ褐色砂多く含む、水分多く含む、粘質シルト、しまりがあ
- 8: 7.5YR4/4 褐色粘質シルト、植山の岩盤の直径1~5cm程度

凡例

- 石
 - 樹木の根
- 太い線が任意の発掘範囲を示す。

図 17 C22 八幡座地区谷部登り口遺構平面図

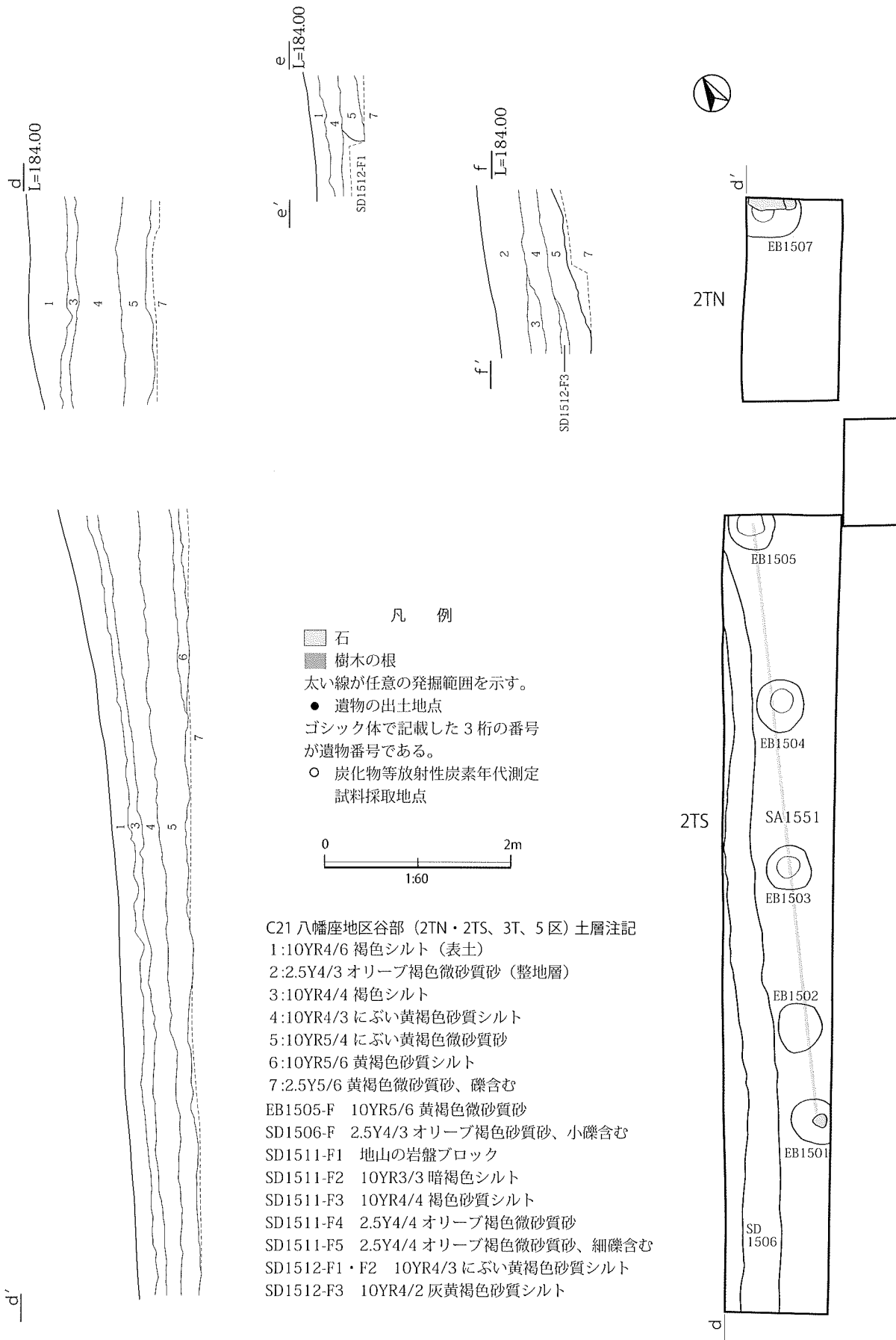


図 18 C21 八幡座地区谷部調査区 (2T・3T・5区) 平面図・土層断面図

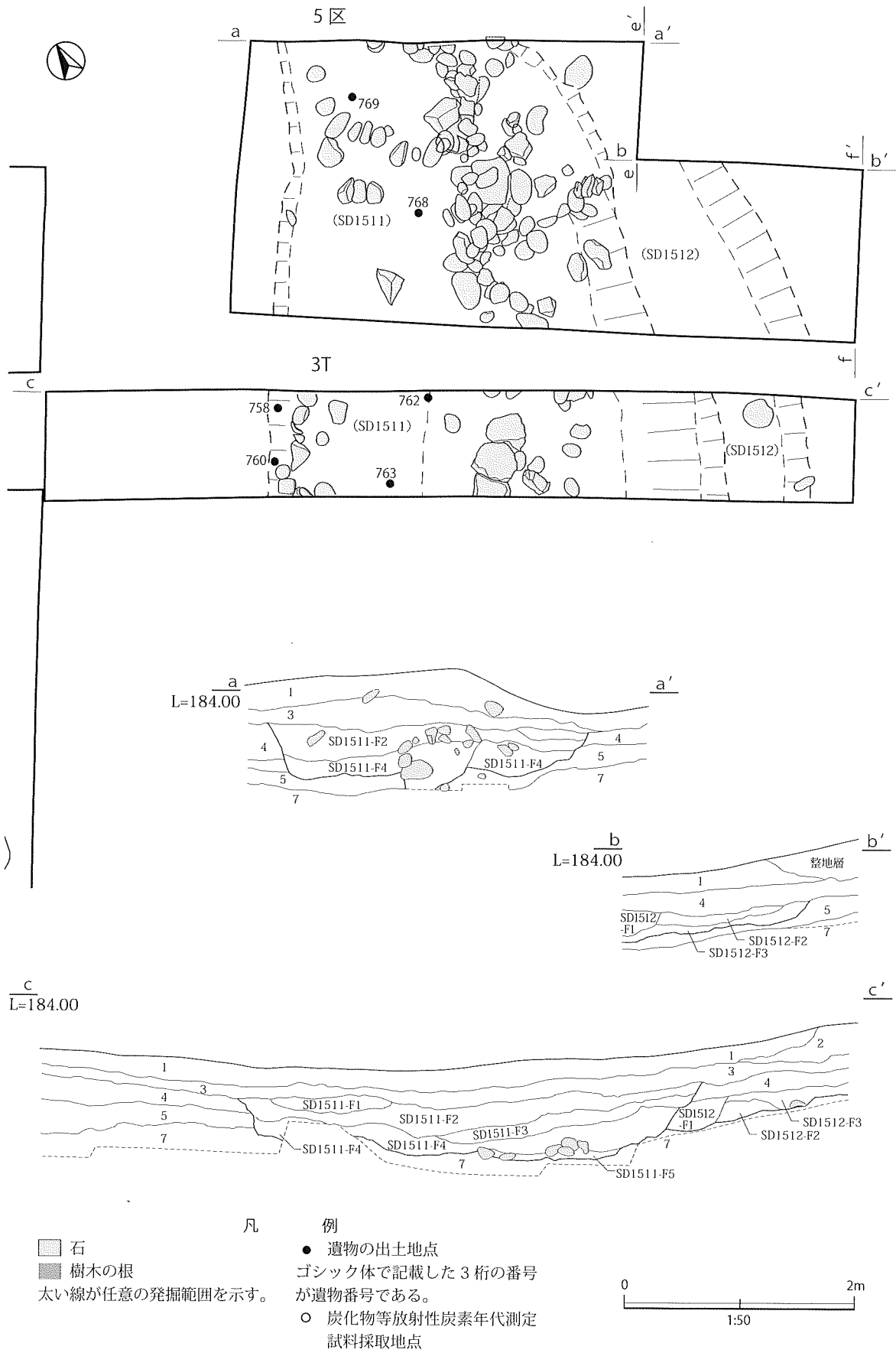
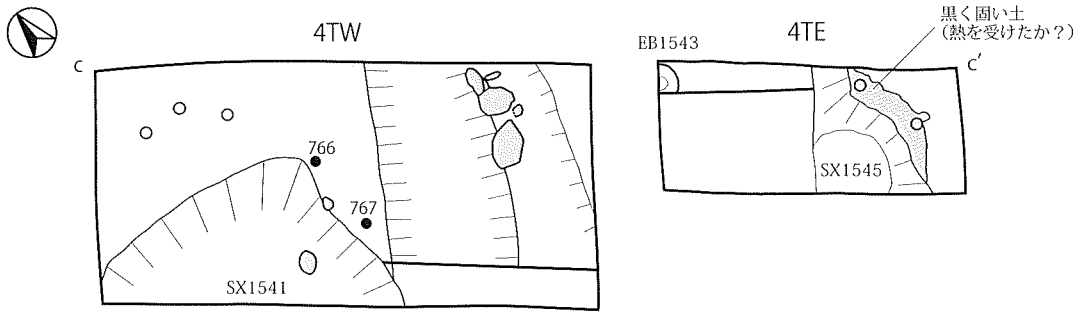
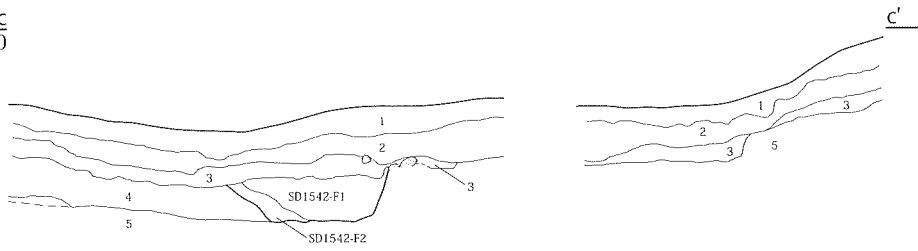


図 19 C21 八幡座地区谷部調査区 (2T・3T・5 区) 平面図・土層断面図

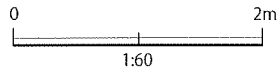


$L = \frac{C}{188.00}$



C21 八幡座地区谷部 (4TE・4TW) 土層注記

- 1:10YR4/6 褐色シルト (表土)
- 2:10YR5/8 黄褐色砂、微礫含む
- 3:10YR4/3 にぶい黄褐色
- 4:10YR5/4 にぶい黄褐色微砂質砂、炭化物、2cm 前後の礫多く含む (整地層)
- 5:10YR7/6 明黄褐色微砂、礫含む
- SD1542-F1 10YR4/4 黄褐色砂、礫含む
- SD1542-F2 10YR4/4 褐色シルト、細礫含む、炭化物を含む



凡 例

- 石
- 樹木の根
- 太い線が任意の発掘範囲を示す。
- 遺物の出土地点
- ゴシック体で記載した3桁の番号が遺物番号である。
- 炭化物等放射性炭素年代測定試料採取地点

図 20 C21 八幡座地区谷部調査区 (4TE・4TW) 平面図

事により、沢の上流部は砂利敷きの工事用道路（図9-⑭）、その下流にあたる楯山公園南側から蛇沢中流までがカラー舗装（図9-⑮）となっている。現在の工事用道路の蛇沢入口は急勾配で、砂利敷きのままでは緊急時など車両の通行に支障が出るため、今回の整備で工事用道路の路盤の上にカラー舗装を行う（図7-⑧）。また、蛇沢下流の未舗装部は整備がされておらず車両の通行には整備が必要であるが、スロープや布堀跡など遺構が確認されている場所が含まれる。このため、車両が通る場所は砂利敷きとし（図7-⑨）、確認した遺構の直上は徒歩通行のみを想定した散策路としてウッドチップを敷設する（図7-⑩）。

【鉄砲場コース】 蛇沢南側の尾根上の曲輪群を通して楯山公園と堀切をつなぐ散策路である（図9-⑱～㉑）。3～5mの急峻な切岸で隔てられた5段の曲輪が並んでいて、堀切から登った2段目の曲輪には「鉄砲場」と呼ばれる土塁状の地形が見られる。これらの曲輪はまだ発掘調査が行われておらず、曲輪の使用状況や地下遺構の有無は不明で、散策路設置を予定するルートの大部分が城道かどうか分かっていない。

鉄砲場コースは、楯山公園から「八幡平」を經由し蛇沢を通して堀切まで下るルート（「八幡平コース」「蛇沢コース」）の周回路として整備を行う。曲輪と曲輪を隔てる切岸が急で、現在はけもの道やロープを伝って上り下りするような道を使用しておりそのまま散策路として供用することは難しいが、地形を改変して新しい道を作ったり、既存の道の勾配を緩くすることは遺跡の保存上困難である。このため、勾配が急な場所や道が狭い場所には地形に沿って階段や手すり、ロープを設置する（図7-⑪～⑬）。そして、「鉄砲場コース」は歩くのに難易度の高いコースであり「蛇沢コース」「八幡平コース」「楯山公園コース」が迂回路として使用できる旨の注意喚起を行う。

【元屋敷コース】 元屋敷から楯山公園までの町道である（図9-21、22）。楯山公園出入り口部は、縄張調査で麓の波切不動付近及び朝日少年自然家方面からのルートをおさえるために腰曲輪と虎口が配置されたと指摘されている（図9-21）。

「元屋敷コース」は、JR左沢線を利用した来訪者や左沢の町場めぐりを行ってそのまま楯山へ登る来訪者など、麓から徒歩で左沢楯山城跡へ登る方のアクセス路となる。既に町道として利用されているため、第1期整備後の動線計画にはアクセス路の一つとして組み込み必要に応じて整備を行う。

(3) サイン

① 概要

第1期整備では「左沢楯山城跡の構造が体感できるようにする」ことを目的として、散策路や景観の整備、遺構の表示を行うが、それらと関連する説明板や案内板などのサインを設置する(図21)。

主なサインとして、道順や行き先などを示す道標、城跡の要所に設置する説明板、出発点に設置する総合案内や模型、史跡名称の標柱、立ち入り制限など必要な注意表示等を予定する。

いずれも城跡の景観に配慮するものとし、特に視点場に設置するものは眺望を阻害しないような形状とする。また、サインの数が増えすぎないように詳細な遺構の説明を掲載した散策マップを配布するなど工夫をする。

史跡指定地外については、駐車場や駐車場から史跡内へのアクセスなど、指定地と一体として整備すべきサインは、史跡の第1期整備において整備を実施する。一方で、JR左沢駅や県道、左沢市街地からのアクセスなど、広域的に設置するサインは重要文化的景観のサイン整備の一環として整備を予定する。

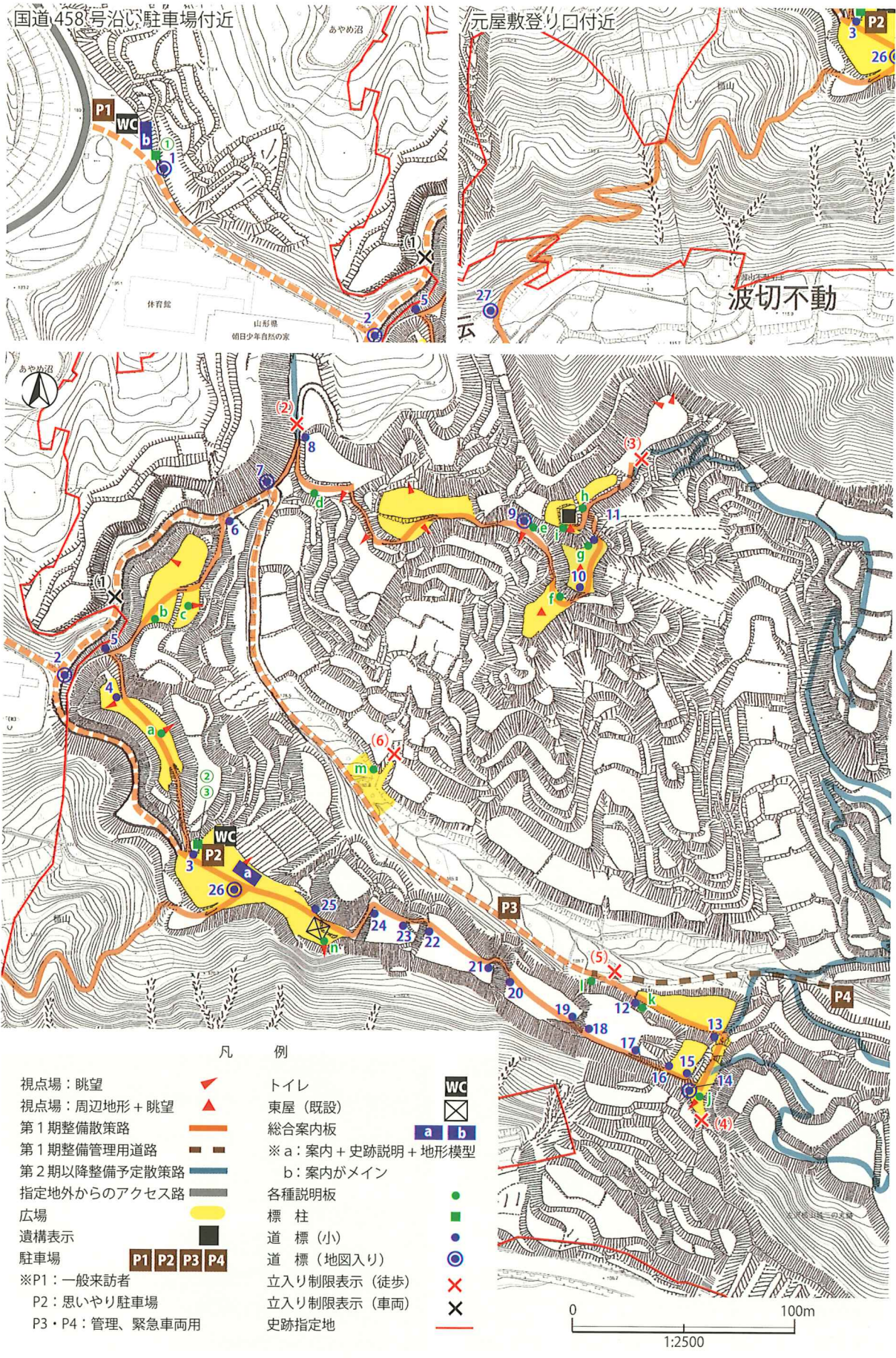


図 21 サイン設置計画

② 道 標 (図 21 の 1 ~ 27)

道標は大きく2種類を準備する。1種類は道順と行き先、道の難易度、必要に応じて距離を記載した道標で、分岐点や見通しが悪い場所に設置する(図 21 の 3 ~ 6、8、10 ~ 13、15 ~ 24、26)。

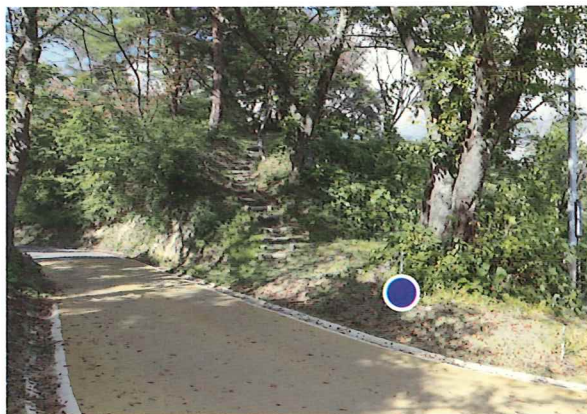
もう1種類は城全域の地図(縄張イラストなど)に散策路と現在地を記載した図を掲載した道標で、複数の道が分岐する場所やコースのスタート地点、城の中核部入口などに設置する(図 21 の 1、2、7、9、14、25、27)。道標は城の景観に配慮したデザインで、かつ、掲載する情報が分かりやすいよう工夫するものとする。また、冬季の積雪や凍結に強い素材、形状を選択する。なお、リーフレットを併用することで、必要以上に大型の道標が増え景観を阻害することを避ける。



道標 1 設置予定地(地図入り)



道標 2 設置予定地 (地図入り)



道標 3 設置予定地



道標 4 設置予定地



道標 5 設置予定地



道標 6 設置予定地



道標7 設置予定地(地図入り)



道標8 設置予定地



道標9 設置予定地(地図入り)



道標10 設置予定地



道標11 設置予定地



道標12 設置予定地



道標13 設置予定地



道標14 設置予定地(地図入り)



道標 15 設置予定地



道標 16 設置予定地



道標 17 設置予定地



道標 18 設置予定地



道標 19 設置予定地



道標 20 設置予定地



道標 21 設置予定地



道標 22 設置予定地



道標 23 設置予定地



道標 24 設置予定地



道標 25 設置予定地 (地図入り)



道標 26 設置予定地



道標 27 設置予定地 (地図入り)



道標の例1 多賀城跡



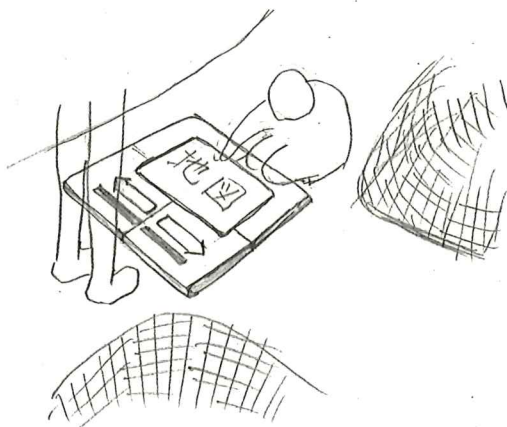
道標の例2 金山城跡



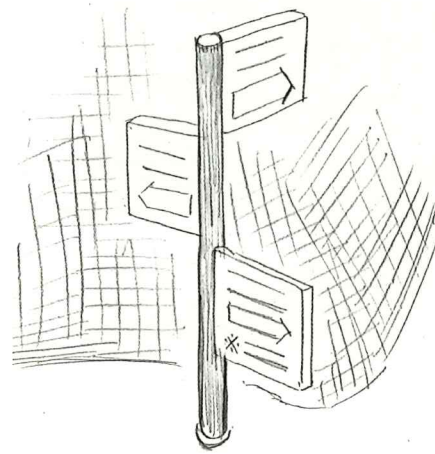
道標の例3 平城宮



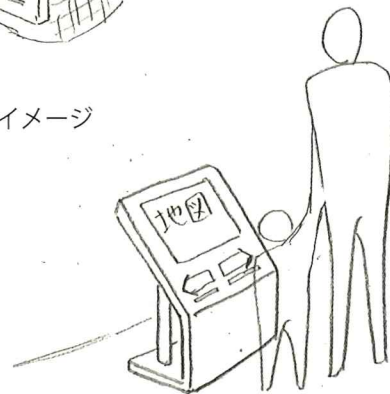
道標 (現在表示地図) の例 平城宮



道標 (地図入り、埋め込み型) 設置イメージ



道標 (小) 設置イメージ



道標 (地図入り) 設置イメージ

図22 道標設置イメージ

③ 説明板 (図 21 の a ~ m)

説明板は眺望のポイントや主な遺構が検出された場所などに設置する (図 21 の a ~ m、表 3)。文章と図版を使って分かりやすい表現を心がける。具体的な設置箇所と内容などは以下のとおりとする。

表 3 説明板設置計画

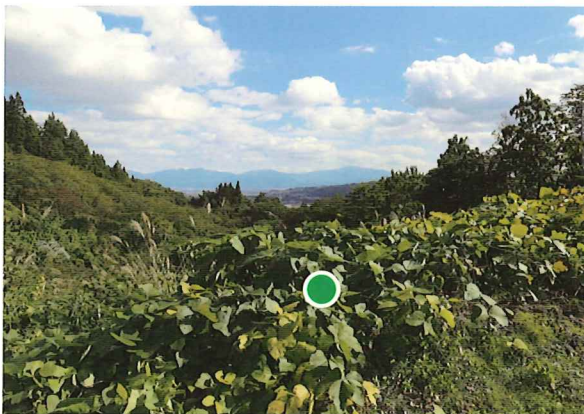
	位置・数量 / 仕様	タイトル	内 容	掲載図版など
a	1 基 / 文章	八幡平	B2 調査区検出遺構、神社の伝承	
	1 基 / 眺望	八幡座の周辺	「八幡座」周辺の城の構造の説明	「八幡座」付近の写真または縄張イラスト
b	1 基 / 図版・文章	土橋	土橋について	地形イラスト
c	1 基 / 眺望	大江氏の拠点	東方向への眺望の説明	東方向への遠景写真
d	1 基 / 名称板	矢竹		
e	1 基 / 図版・文章	帯曲輪	帯曲輪について	地形イラスト
f	1 基 / 図版・文章	切岸と曲輪	切岸と曲輪について	曲輪と切岸の地形の写真またはイラスト
g	1 基 / 図版・文章	ゴホンマル	C4 調査区検出遺構	遺構の写真、遺構図、イメージイラスト
h	1 基 / 図版・文章	八幡座	C1 調査区検出遺構	地形図、遺構図、イメージイラスト
	1 基 / 図版・文章	建物跡	2 × 2 間四方の建物跡、井楼櫓か	建物跡写真、イメージイラスト
	1 基 / 名称板	柵跡		
	1 基 / 名称板	虎口跡		
i	1 基 / 図版・文章	虎口	虎口について	地形イラスト
j	1 基 / 図版・文章	堀切	B8 調査区検出遺構	遺構の写真、土層断面図
	1 基 / 図版・文章	登城路	B7 調査区検出遺構及び登城路	縄張イラスト、遺構の写真
k	1 基 / 図版・文章	山城の道 1	B3 調査区 7 区検出遺構	遺構の写真、遺構図
l	1 基 / 図版・文章	山城の道 2	B3 調査区 1 T 検出遺構	遺構の写真、遺構図
m	1 基 / 図版・文章	山城の道 3	C21 調査区検出遺構及び城道	縄張イラスト、遺構の写真
	1 基 / 図版・文章	山城の道 4	C22 調査区検出遺構	遺構の写真、土層断面図
n	1 基 / 眺望	左沢と最上川	楯山公園からの眺望景観について	南方向への遠景写真



説明板 a 設置予定地



説明板 b 設置予定地



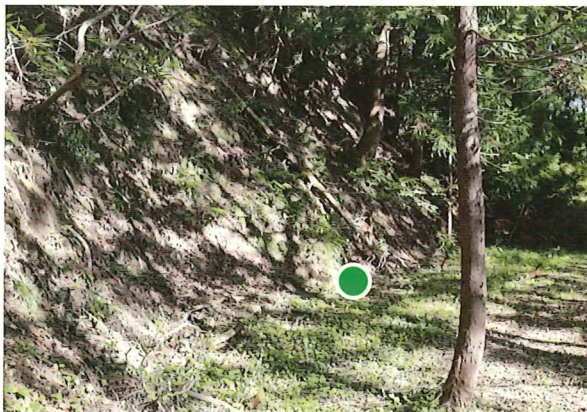
説明板 c 設置予定地



説明板 d 設置予定地



説明板 c 掲載眺望



説明板 e 設置予定地



説明板 f 設置予定地



説明板 **g** 設置予定地



説明板 **h** 設置予定地 (表示遺構にあわせて設置)



説明板 **i** 設置予定地



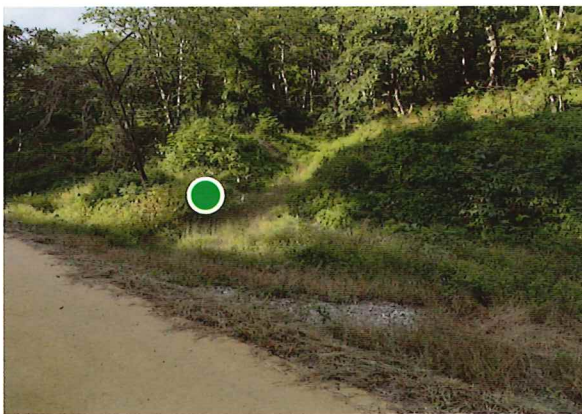
説明板 **j** 設置予定地



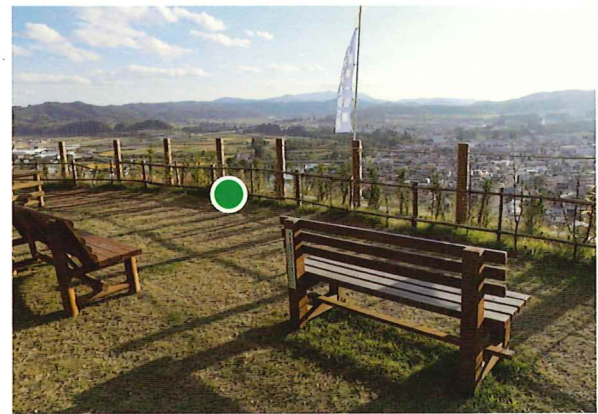
説明板 **k** 設置予定地



説明板 **l** 設置予定地



説明板 **m** 設置予定地



説明板 **n** 設置予定地



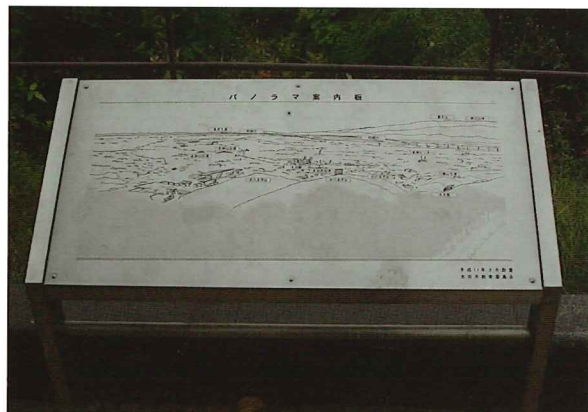
説明板の例 1 (金山城跡)



説明板の例 2 (金山城跡)



説明板の例 3 (金山城跡)



説明板の例 4 (金山城跡)



説明板の例 5 (金山城跡)



説明板の例 6 (金山城跡)



説明板の例 7 (安土城跡)



説明板の例 8 (平城宮跡)



説明板の例 9 (多賀城跡)



説明板の例 10 (多賀城跡)



説明板の例 11 (嶋遺跡)



説明板の例 12 (嶋遺跡)



説明板の例 13 (稻荷森古墳)



説明板の例 14 (稻荷森古墳)

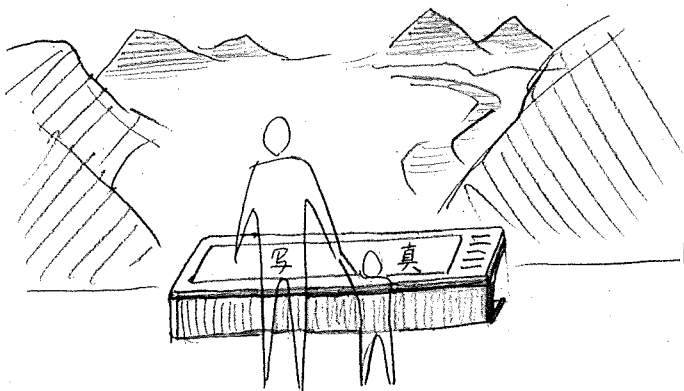
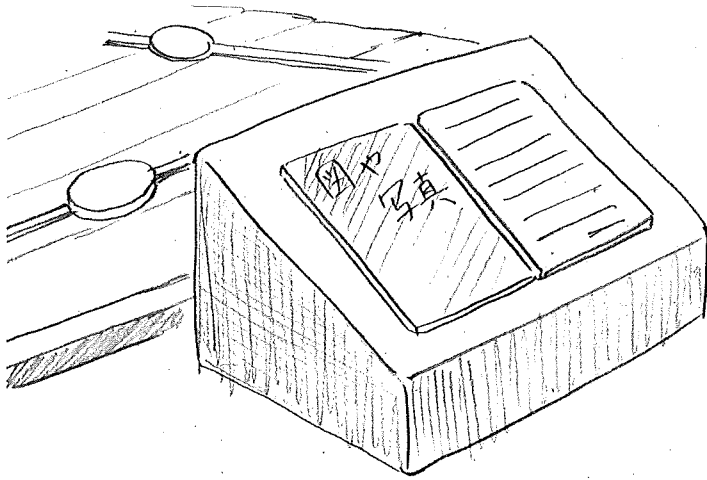


説明板の例 15 (延沢城跡)

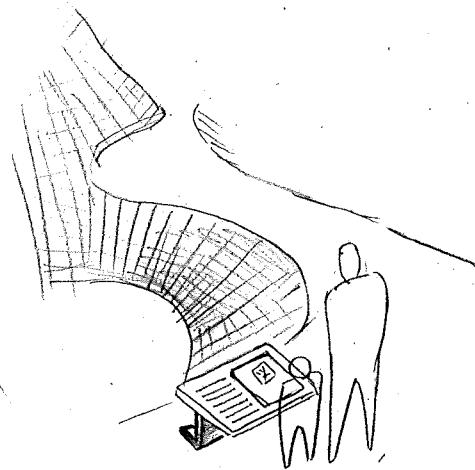


説明板の例 16 (城輪柵跡)

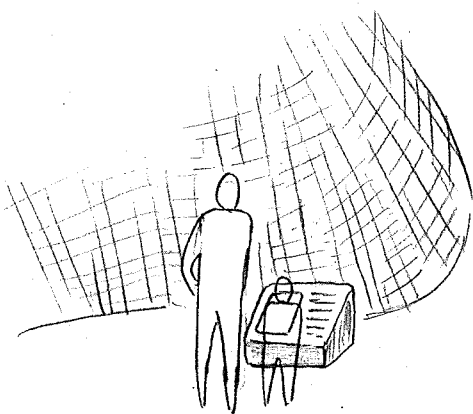
図版・文章（表示遺構の詳細）の説明板設置イメージ



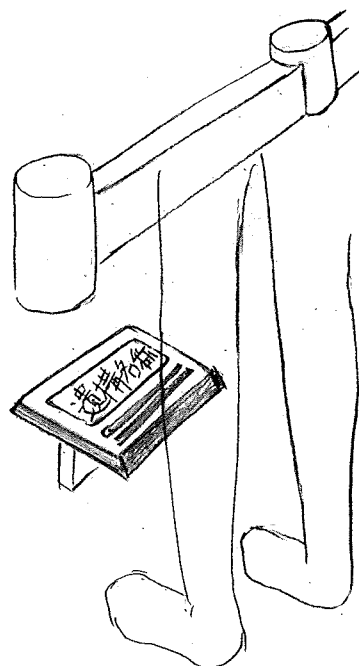
眺望の説明板設置イメージ



図版・文章（地形）の説明板設置イメージ



図版・文章（遺構・地形等）説明板の設置イメージ（斜面下部設置）



名称板の設置イメージ

図 23 説明板設置イメージ